

富岡地域づくり 協議会だより



第7号

平成28年10月17日

広報委員会

<http://www.town-tomioka.click/>

富岡地区敬老会が開催されました



9月11日(日)9時45分より富岡地区体育館にて、富岡地区敬老会が開催されました。主催は富岡地域づくり協議会・富岡地区敬老会実行委員会で、実行委員長をはじめ総勢122名が準備から当日の運営まで行いました。

ところで、富岡地区の今年の敬老会の対象者は3447名で、このうち本年度よりこの対象になった人が366名、また100歳以上の方が25名だそうです。当日の参加者は400名程でした。天気に恵まれたこともあったからかもしれません。

さて、この慶事は式典からはじまりました。渡辺実行委員長のあいさつ・青木市議会議員の祝辞等がありました。中でも、富岡小・西富小・中富小の児童代表の作文発表には、多くの参加者が頷き・共感し・感嘆しながら静聴していたのが印象的でした。

かつて富岡地区には、3世代・4世代家族がかなりありました。それも今や希少になり、孫や曾孫にあたる子どもたちが紡いだ温かい心豊

かな作文の内容に、胸を熱くされたとしても何の不思議もありません。離れて住む孫や曾孫に思いをはせ、ついそ目の前にできればと思われた方も多くいたのではと推測されます。敬老会代表小林様の心温かで立派な謝辞もありました。

いよいよ参加された方が楽しみにしていた演芸の部に続きます。最初は、双実保育園の園児による出し物でした。「所沢音頭」「花笠音頭」沖縄民謡「ミルクムナリ」の太鼓演奏と、そして圧巻だったのが「浦島太郎」の群読とパープサートでした。舞台狭しと動き回り、全身全霊で精魂をこめてカー杯の躍動に大勢が感動し、感嘆の盛大な拍手を送っていました。「可愛いね」「よく覚えたね」等の感想があちこちから聞こえてきました。

次いで「富岡うたごえハーモニー」によるコーラスの発表がありました。「君をのせて」「よさこい節」「会津磐梯山」等の心に響く・胸を打つ歌声が聞かれ、充実したひとときを過ごすことができました。ハーモニーのこちよさも実感できました。「里の秋」「みかんの花咲く丘」「ふるさと」の三曲を会場中で合唱もしました。この指導にあたられている、元富岡小学校長、大岩征子先生のお元気な姿も拝見でき、懐かしく思われた方も大勢いたようです。

結びに、陰になり日向になり、ボランティアとして活躍いただいた富岡中学校の生徒の皆さんに心より御礼を申し上げたいと思います。参加いただいた皆様に若さのおすそ分けもできたかなと思います。

そして、同時に、本会に参加いただいた先達の皆様・敬老会対象者の皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念し、来年度も是非お会いできますことをご期待申し上げます。



【敬老会の様子】

敬老会の様子を掲載します。



体育館全体にシートを張り準備



富中生にもお手伝いいただきました



富中生の案内により入場する招待者



マイクロバス 4 台で送迎しました



バスの到着



受付は、自治会ごとに行います。



だいぶ席が埋まってきました。



まもなく開会です。



地区内小学校 3 名の発表者



中富小児童



富岡小児童



西富小児童



みんなで歌いました



双実保育園児の演技



浦島太郎のおはなし



富岡うたごえハーモニーの皆さん

<編集後記>

『思い込みを捨て、思いつきを拾う。』・・・小林幸子

あれこれあって、一時歌謡界で干され、ニコニコ動画でしっかり甦った歌手が銘としてきたことば。

「演歌歌手だから、この年齢だからという垣根を取り払い、新しいものを取り入れたい」と言う。限界は、たいていはそうと思いこんでいるにすぎない。ふりかかった偶然、わけもなくふと浮かび上がったアイデアを面白がれるかどうかは人生を左右する。

「折々のことば」驚田清一氏 より引用しました。なぜかふと目に留まり、含蓄あることばだと思え、心に深く浸みたからです。こう思えるひとがきっと他にもいるのではないかと思えたからでもあります。

前回のウォークラリーに際して、思いもよらずところんが来場してくれました。会場にいた子どもたちは、突然の人気者の来場に大喜びで、一緒に写真に収まっている光景があちこちにみられました。この反応に、今度は実行委員として来場を要請してはという意見も出されています。また、わた菓子等の提供も好評でしたので、継続の予定でいます。

前者のところんの来場は、ふりかかった偶然とでもいえそうです。これに躊躇なくのれた子どもたちの行動が、積極的な来場の要請につながったのかもしれませんが。承諾いただけるかどうかは、まだ定かではありませんが、期待したいと思います。

期せずして実行委員として活動させていただいているからかと思ひ、この思いつきとやらも楽しんでいきたいと思ひます。皆様の思いつきも是非お寄せください。